

一生懸命

倉敷市立福田南中学校
第2学年 学年だより
令和5年6月1日
第3号



神戸・淡路防災学習を終えて ～学んだこと・考えたこと～

【1組の振り返りより】

・「防災」は災害を防ぐこと、「減災」は災害を減らすこと。似ているけれど、違うことだと分かった。僕たちにできるのは「減災」だと思うので、日頃からの備えをきちんとしておきたいと思った。
・語り部の方から、遠いところからもボランティアがたくさん来てくれたということを知った。すごいことだと思った。
・「災害は、忘れた頃にやってくる。」と言われるので、決して忘れてはいけなかった。明日を迎えたり、命があったりするとは、当たり前ではない。災害によって突然終わってしまうこともあるので、1日1日を大切にしたい。
・語り部さんが言われた、「自助」「公助」「共助」という言葉がとても印象に残った。避難所では、「公助」だけに頼っていたらものすごく大変だと思う。自分たちでルールを作り工夫することで、上手に助け合いができるのだと分かった。

【2組の振り返りより】

・事前学習は、どうしても画面の向こう側を見るような感じだったが、研修では、直接、見たり聞いたりして、より深く感じることができた。災害は、自分にも起こりうることだと思えた。
・「人と防災未来センター」で見た映像は、本当に目の前で起こっているようで、とても怖かった。
・岡山は、比較的災害が少ないから、突然の災害には対応できないことも多いかもしれない。だからこそ、命を守るために、自分の家でも防災グッズを準備しておきたいと思った。
・語り部さんのお話から、「防災」と「減災」の違いや、たくさんのボランティアが活躍したことを知ることができた。

【3組の振り返りより】

・家に、防災バッグはあるけれど、中身の確認まではしていないので、日頃の準備が大切だと思った。
・亡くなった人の中には、まだ小さい子どもたちもいただろうし、親を亡くした子どもたちもいるだろう。とても辛いなと思った。1日1日を大切に生きていきたいと思った。
・「人と防災未来センター」の映像から、震災の恐ろしさや被災者の辛さや悲しみが、ひしひしと伝わってきた。しかし、資料を見ていくうちに、復興のために前を向いていこうという人々の思いが見えてきた。今、僕たちが学習することが、未来の「防災・減災」につながるのだと思った。
・「防災」はできないかもしれないけれど、「減災」はできると思う。近所の人達とも、普段から助け合うことが大切だと思った。

【5組の振り返りより】

・「人と防災未来センター」には、たくさんの資料や情報が展示されていた。私は、震災を経験した方の気持ちなどが知りたかったので、その資料を探した。「家や家族を失った経験を話すのは辛いことだが、この経験を意味あるものにするために少しでも伝えていきたい。」と記されていて、すごく心に残った。
・自然災害は防ぎようがないが、少しでも被害を少なくするために、「減災」ということについて考えることが大切だと分かった。ご近所同士で、助け合ったり、協力し合ったりすることも忘れないようにしたい。

あいにくの雨模様の中でスタートした神戸・淡路防災学習。昼食こそバスの中で食べましたが、その後は雨が上がり、予定通りに活動できました。

初日は「防災学習」でした。淡路島の北淡震災記念公園では「野島断層」を見学し、大きくずれた断層を目の当たりにし、地震の規模の大きさに改めて衝撃を受けたようです。「人と防災未来センター」では、語り部の方の講話をお聞きしたり、多くの資料の見学をしたりしました。中でも、地震の再現映像が印象深かった生徒がたくさんいました。もう少し見学の時間がほしかったという声が出るほど、熱心に学ぶことができました。そして、その後はホテルに入り、友達と楽しい時間を過ごしました。2日目は、神戸市内の班別研修です。計画通りにいかなかった班もありましたが、仲間と一緒に神戸の街を楽しく歩きました。

研修の学年スローガン「学び、考え、深めよう。命を守る大切さ」を胸に、真剣に学習に取り組めた一方で、学年としての課題もはっきりと見えた2日間となりました。より成長できるよう、保護者の方のお支えをいただきながら、ともに頑張っていこうと思います。

【4組の振り返りより】

・事前学習のDVDで、人の命の大切さや地震の恐ろしさについて考えさせられ、神戸・淡路防災学習で実際に学ぶことにすごく興味をもてた。
・学習全体を通して私たちが心に留めておかなければならないと思ったことは、「人と協力する」ということだ。多くのボランティアの方が片付けにきてくれ、支えになってくれたと語り部の方も話されていた。どんな時でも、手を取り合い支え合うことは大切だと思った。
・以前は、防災バッグなんか必要ないと思っていたけれど、この研修で、絶対に必要な物だと分かった。
・野島断層が印象に残った。震災当時の様子を再現している家を見て、恐ろしさを体感できた。

6月の行事予定

変更になる場合があります。

1	木		16	金	
2	金	教育相談①	17	土	備南東地区総体
3	土		18	日	備南東地区総体
4	日		19	月	短縮午前中授業 給食あり
5	月	短縮7時間授業 教育相談②	20	火	
6	火		21	水	期末考査範囲発表 部活動停止
7	水	生徒専門委員会	22	木	短縮7時間授業
8	木	短縮7時間授業 教育相談③ 耳鼻科検診(対象者)	23	金	短縮7時間授業
9	金	教育相談④	24	土	
10	土		25	日	
11	日		26	月	短縮7時間授業
12	月	あいさつ運動2-2 みんなでガーデニング	27	火	短縮7時間授業
13	火		28	水	期末考査① 給食あり
14	水		29	木	期末考査② 給食あり
15	木	歯科検診(午後)	30	金	期末考査③ 給食あり

教育相談を行っています

担任との教育相談を行っています。短い時間ですが、学習のこと、部活動のこと、友達のことなど、話を聞きます。教育相談週間に限らず、気軽に相談をもちかけてもらえるような信頼関係を、生徒一人一人との間に築きたいと思っています。なお、スクールカウンセラーとの面談を希望される場合は、学校までご連絡ください。

更衣について



梅雨の時季を迎えると、湿気や暑さとの戦いが始まります。そんな時だからこそ、服装にも気を配り、さわやかに過ごしたいものです。学校では、正しい着こなしと名札や棒タイの着用を忘れないようにすることを指導しています。ご家庭でも、登校前にお声掛けいただけると助かります。

- 名札を忘れない。
- 棒タイをきちんと結ぶ。
- ズボンにシャツをきちんと入れる。
- ベルトを使う。
- スカートを短くしない。
- 下着をきちんと着る。色や柄の付いたTシャツを下着代わりに着ない。

紫陽花に 雫あつめて 朝日かな

加賀千代女

